

大河ドラマ
「どうする家康」
で大注目!

伯父

生母

水野信元 と 於大

■ 歴史博物館 (☎63-6100)

令和5年の大河ドラマ「どうする家康」では、刈谷に所縁のある家康の伯父・水野信元や、家康生母・於大が登場します。

信元は、近年の研究成果によってその人物像が再評価されつつあり、異母妹の於大を巡る当時の政治情勢についても見直しが進んでいます。刈谷所縁の人物である水野信元と於大について、最新の研究状況から、その実像について4つのエピソードを紐解きます。

2人の人物像

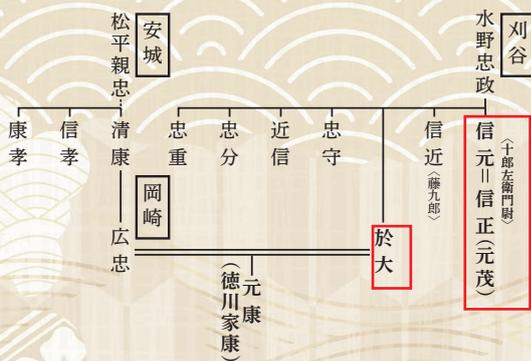
水野信元

?～天正3年 [1575]

別名：十郎左衛門尉、藤四郎

官途：下野守

水野宗家の当主・忠政の子で、父が没した後、その家督を継ぎました。知多半島に勢力を拡大し、尾張と三河の境目を支配する勢力として、また家康の伯父として活躍しましたが、長篠の戦いでは、武田氏との内通が疑われ誅殺されました。



於大

享禄元～慶長7年 [1528-1602]

通称：伝通院

水野忠政の娘で、岡崎松平家当主の広忠に嫁ぎ、竹千代（後の徳川家康）を産みました。情勢の変化で離縁となった於大は刈谷に帰され、椎の木屋敷で生活しました。その後は、阿久比の久松俊勝（長家）に再嫁し、三男三女をもうけます。



▲伝通院画像【県指定文化財】
(楞嚴寺蔵)

年号	事項
享禄元(1528)	於大誕生。
天文10(1541)	於大は松平広忠に嫁ぐ。
11(1542)	竹千代(家康)誕生。
12(1543)	父・忠政没。信元が跡を継ぐ。
13(1544)	松平家中は於大を離縁させ刈谷に帰す。椎の木屋敷に住む。
16(1547)	於大は久松俊勝(長家)へ再嫁。竹千代は織田氏の下へ送られ人質となる。
18(1549)	松平広忠没。今川氏に捕えられた織田信広(信長兄)と竹千代との交換が成立。竹千代は駿府へ。
23(1554)	信元は信長と共に今川方の村木砦を攻略。
弘治元(1555)	竹千代元服。元信(後に元康)を名乗る。
永禄3(1560)	桶狭間の戦いで今川義元戦死。刈谷城の水野信近は今川家臣の岡部元信に攻められ討死。
5(1562)	信元のあつせんで織田・松平同盟成立。
6(1563)	元康から家康に改名。三河一向一揆が起こる。
7(1564)	信元は家康に一揆との和睦を勧告。
9(1566)	家康が松平から徳川に改姓。
11(1568)	信元は朝廷に三千石献上。
天正3(1575)	信元が長篠の戦いに参戦。武田氏との内通を疑われ、信長の命により殺害される。
4(1576)	水野氏領を佐久間信盛が治める。
8(1580)	信長が佐久間信盛を追放。刈谷城に水野忠重が入る。